

(様式 1-3)

福島県（大熊町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和元年 1 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	事業名	大熊町サポートセンター運営事業	事業番号
交付団体	福島県	事業実施主体（直接/間接）	大熊町
総交付事業費	(0) 14,360（千円）	全体事業費	(0) 14,360（千円）
帰還環境整備に関する目標			
平成 3 1 年 4 月に町内の一部が避難指示解除され、町民の帰町が始まった。帰町者の多くは高齢者等であり、町内での生活に不安を抱える声があるため、安心して町内で生活できるよう高齢者等サポート拠点を設け、生活支援等を行っていく。			
事業概要			
大川原地区において現在建設中の住民福祉センター内に、サポートセンターを設置し、帰町している高齢者等の生活を支援する。なお、サポートセンターの運営を町直営で行うことは困難であるため大熊町社会福祉協議会に委託して帰町者の在宅生活を総合的に支援する。			
【サポートセンター概要】 高齢者等、在宅生活に支援が必要な帰還者に対し、以下のサービスを実施する。			
○サービス内容			
・地域交流サロン ・外出支援サービス ・配食サービス			
[大熊町第二次復興計画改訂版]			
・ P19 3. 重点施策 町民が生きがいを持って暮らせる環境づくり、地域共生社会の実現 町内におけるコミュニティ形成			
・ P52 4. 計画の実行に向けて 町内での安全・安心な暮らしに向けて			
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください			
当面の事業概要			
<令和 2 年度>			
・ 孤独になりがちな高齢者等の交流を目的とした地域交流サロン等の運営 ・ 概ね 6 5 歳以上の高齢者等を対象とし駅の開通や生活圏の変動に対応した外出支援サービス ・ 高齢者単身世帯等への配食サービス			
<令和 3 年度>			
・ 駅開通後の居住場所の拡大に配慮しつつ、孤独になりがちな高齢者等の交流を目的とした地域交流サロン等の運営 ・ 概ね 6 5 歳以上の高齢者等を対象とし生活圏の変動に対応した外出支援サービス ・ 高齢者単身世帯等への配食サービス			
地域の帰還環境整備との関係			

なし
関連する事業の概要
なし

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

